

環境問題バザール ～第一次意見文～

第一次意見文「オゾン層の破壊」

私は、この「オゾン層の破壊」について、いろいろ調べてみて、私たちは今、いつ爆発するか分からない爆弾を背中に背負っているのと同じ状況だなあと感じました。

オゾン層が壊れると、紫外線のせいで、皮膚がんや失明という病気の患者がたくさん増えます。それは、大きな爆弾だと私は思います。しかし、それにだんだんと火をつけているのは、私たち人間なのです。そこで、一人の人間が「オゾン層を壊すフロンを使わないようにする」と言って、エアコンなどを使わないで、世界から出るフロンが少し減ったといっても、今の現状はあまり変わらないと思います。今の現状を変えるためには、そう思った人間が、その思いをみんなに伝え、その話を聞いた人が、また違う人に伝え、それが全世界の人に伝わることであれば、今の現状は、よい方向へととも変わると思います。

だから、私が今やっている行動もその一つだと思います。もし、この考えが伝わったならば違う人に伝えてほしいと思います。それが、世界がよい方向へ進むための一歩だと思います。

第一次意見文「砂漠化」

ぼくが、砂漠化についてもっと関心をもとうと主張する根拠は3つあります。それは次の通りです。

第1に、他の環境問題と比べて全般的に関心が低いということです。この砂漠化は1970年ごろから問題視されてきたのですが、国際的な対応が立ち遅れてきました。ぼくは、このことも現在の砂漠化拡大につながっていると思います。

第2に、砂漠化の危険性です。もともと人間が草原などで家畜を飼ったり、畑をつくったりしたからです。他にも日照りや降水不足なども原因なのですが、人間が緑を減らして砂漠化を進めています。実際に地球の陸地面積の4分の1を砂漠地帯が占めています。年々、世界各地で砂漠化は進んでいて、1年間で約600ヘクタールが砂漠となっています。これは、ほぼ日本の九州と四国が毎年、砂地になっていると言えます。最近では中国の黄土高原の砂が日本まで飛んでくるのが心配されています。ぼくは、ぼくたち人間が自分で自分の首をしめていると思います。だから、もっとこの大変な環境問題を知ってほしいと思います。

第3に、日本は砂漠化の被害を受けていないことです。もし日本で、現在のまま砂漠化が起これば、日本の農業がだめになって食糧不足になると思います。日本は島国なのでその確率は低いと思いますが、そのことを意識する必要があると思います。

今、現在、世界では砂漠化をくい止める手だてで有力なものはありません。だから、みんなで考えていく必要があると思います。